

2023年11月30日

各位

Abalance 株式会社
代表取締役社長 光行 康明
(コード番号: 3856 東証スタンダード)
問い合わせ先: 執行役員 IR・経営企画室長 小野 公久
電話: 03-6810-3028 (代表)

毎日新聞掲載のお知らせ

当社太陽光パネル製造事業（当社ベトナム子会社 Vietnam Sunergy Cell Company Limited）におきまして、本年10月下旬に新セル工場（フェーズ1）が完成しましたが、これに関連して、本日付の毎日新聞（朝刊）に、「世界を照らす 持続可能な社会の創造へ」と題してグループCEOの龍潤生、VSUN CEOのLewis Caiのインタビューが掲載されました。本年11月22日開催の落成式において、フート省副知事から頂戴いたしましたお祝いの言葉が併せて掲載されましたので、お知らせいたします。



企画・制作/毎日新聞社営業総本部 広告

世界を照らす 持続可能な社会の創造へ

2023年7月、国連のグテレス事務総長は「地球温暖化の時代は終わり、地球涼風の時代が到来した」と危機感をあらわにした。日本は「2050年までに温室効果ガスの排出ゼロ」という目標を掲げているが、近年、異常気象が問題となっており、持続可能な社会を目指す世界にとって、太陽光発電を含む再生可能エネルギーの普及が不可欠になっている。グリーンエネルギー事業を展開するAbalanceグループは10月、ベトナムに太陽光パネルの主要部品であるセルの自社工場を建設した。2023年は日越外交関係樹立から50年という節目の年。この記念すべき年に、Abalanceグループは脱炭素社会の実現に向けた新たな一歩を踏み出した。今後更に重要性が高まる太陽光発電事業の意義や展望を、Abalanceグループの龍潤生CEOとグループ傘下の太陽光パネルメーカー「VSUN」のLewis Cai CEOに聞いた。

日本とベトナムの連携 更なる市場拡大へのカギに

私は15年前より太陽光発電事業に携わり、業界の浮き沈みを経験してきました。今は世界中で炭素排出量削減の必要性があらわなというコンセンサスが広がっています。このような有為な仕事に取り組みすることに喜びを感じています。

この15年間で、世界の技術革新は急速に進みました。VSUNは研究開発に力を入れているため、次に先出される新しい技術についていくことができています。社員は10年以上の業界にいたるメンバーばかりなので専門的な知識が豊富です。皆プロフェットと責任を持って働いています。それが当社の強みです。

日本とベトナムは国同士で良い関係を築けています。日本の技術力とベトナムの製造コスト、

日本メーカーとして社会貢献の できるビジネスを

今回、ベトナムにセル工場を建設して1年、年間生産能力は8GWを見込んでいます。これは他国から太陽光パネルの輸入ができません。VSUNは、社会的責任を果たしていくことも重要です。例えば、今年ベトナムに学校を建設しました。CEOは「100校の学校を建てることを目指していますが、実現できるのはVSUNの発展が不可欠です。今後はローカルな職人を雇用し、今後はアメリカがメイン市場ですが、他の地域にも市場を拡大していきたいと思っています。」

今、ベトナムにセル工場を建設して1年、年間生産能力は8GWを見込んでいます。これは他国から太陽光パネルの輸入ができません。VSUNは、社会的責任を果たしていくことも重要です。例えば、今年ベトナムに学校を建設しました。CEOは「100校の学校を建てることを目指していますが、実現できるのはVSUNの発展が不可欠です。今後はローカルな職人を雇用し、今後はアメリカがメイン市場ですが、他の地域にも市場を拡大していきたいと思っています。」

VSUN CEO
Lewis Cai 氏

Abalance グループ CEO
龍潤生 氏

(注) 新聞紙面の抜粋については、毎日新聞社の許諾を得て掲載しております(2023年11月30日付朝刊16面より抜粋)。

日越友好50周年 節目の年に工場竣工

経済発展に大きく貢献 日本とフート省、協力の証



フート省 副知事
グウェン・クワン・ハイ氏

本プロジェクトはフート省とその周辺地域で800人以上の労働者の雇用を創出するなど、周辺地域全体の工業生産額の向上と社会経済の発展に非常に大きく貢献しています。これは日本企業とフート省との協力の証でもあります。皆様からの応援をありがとうございます。

この度はTOYO SOLARの新工場の落成、誠におめでとうございます。世界経済が多くの困難や課題に直面している中、Abalanceグループは2022年11月にTOYO SOLARを設立してから本日にわずかな期間でセル工場を完成させ、無事に生産を開始されました。

周辺地域で800人以上の労働者の雇用を創出するなど、周辺地域全体の工業生産額の向上と社会経済の発展に非常に大きく貢献しています。これは日本企業とフート省との協力の証でもあります。皆様からの応援をありがとうございます。



社員の声

- 「セル内製はモジュール性能にも好影響」 VSUN 工場長 兼 CTO Mr. Jason
- 「アメリカ市場に向けて、準備を進めています」 VSUN 副社長CFO Mr. Vincent
- 「アメリカへの輸出、益々強まります」 VSUN 副社長CMD Ms. Jenny
- 「リブライチエーンの安定化が進みました」 TOYO SOLAR 常務副社長 Mr. Lee
- 「Abalanceグループの大きな発展です。日本での販売も強まります」 WWS 代表取締役社長 堀田 和一郎
- 「Abalanceグループの更なる発展に全力を尽くします」 Abalance 日本 売一
- 「ベトナムから世界へ!グループの力を益かし頑張ります」 WWS 藤生 謙太



Abalanceグループ傘下VSUNの子会社であるTOYO SOLARが建設したセル工場の竣工が11月22日に開かれ、一連はベトナムのフート省輝光工業団地に建設され、敷地面積は約13,420平方メートルです。

主要部品であるセルを外部購入から自社製造に切り替えることが可能になる。安定調達に寄与するほか、各国の輸入規制にも対応し、サプライチェーンの安定化や市場競争力の強化が期待される。

Abalance グループ CEO (龍潤生)

“日本メーカーとして社会貢献のできるビジネスを”

- Abalance グループは、グリーンエネルギー事業で「照らすべき全ての場所に光を送り届けること」を目指しています。
- 「脱炭素を実現し、地球を守りたい」という情熱を持ち続け、今では世界に通用する太陽光パネルメーカーに成長したと自負しています。
- セルを生産する自社工場の竣工は、重要なターニングポイントですが、グローバル競争を勝ち抜き、社会から尊敬され、社員が誇りを持てる会社にしていくことが今後の目標です。

VSUN CEO (Lewis Cai)

“日本とベトナムの連携 更なる市場拡大へのカギに”

- 今は世界中で炭素排出量の削減へのコンセンサスがあり、このような有意義な仕事に取り組めることに喜びを感じています。
- 今回竣工したセル工場は、世界トップクラスの設備と技術力を誇ります。
- 今後はグローバル戦略を展開し、今はアメリカ市場がメインですが、他の地域にも市場を拡大していきたいと思っています。

フート省副知事 (グウェン・クワン・ハイ)

日越有効50周年 節目の年に工場竣工

- この度は、新セル工場の落成、誠におめでとうございます。
- 本プロジェクトは、フート省とその周辺地域で、800人以上の雇用創出など、地域の工業生産額の向上と社会経済の発展に非常に大きく貢献しています。
- 現在、再生可能エネルギーの導入が世界的に広がっていますが、私達は Abalance グループをサポートし続けることをお約束します。皆様のご発展を心より、お祈り申し上げます。

以上